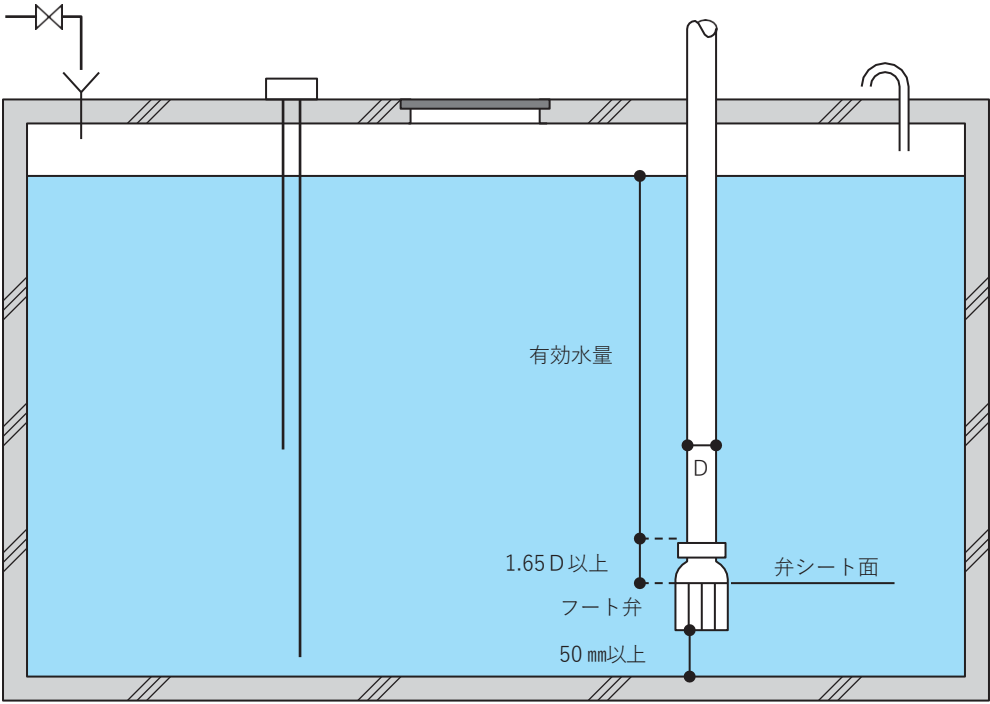


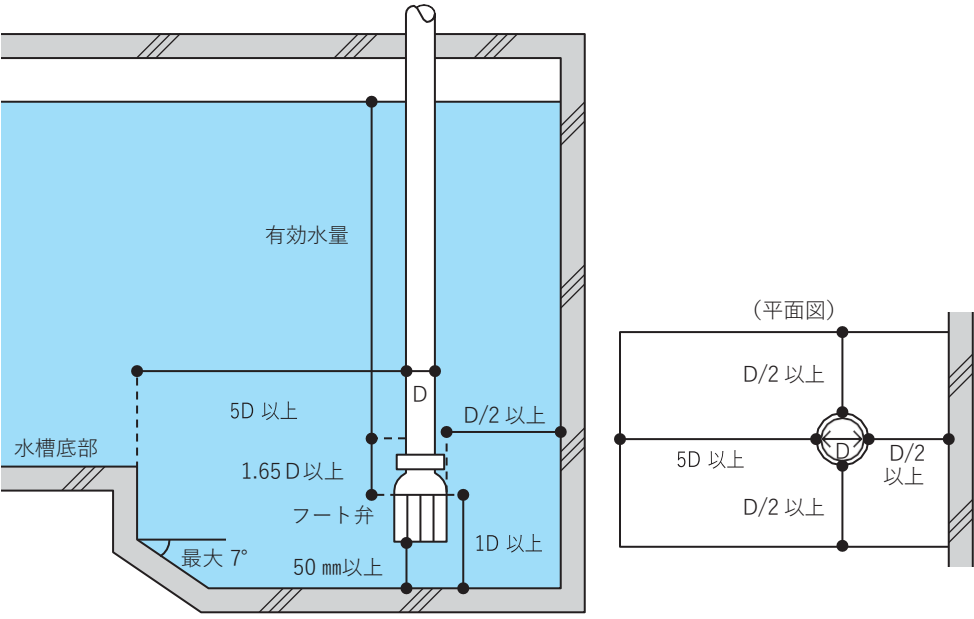
第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

地下ピットに設けられる水槽（サクシヨンピットを設けない場合）



第 2 -25 図

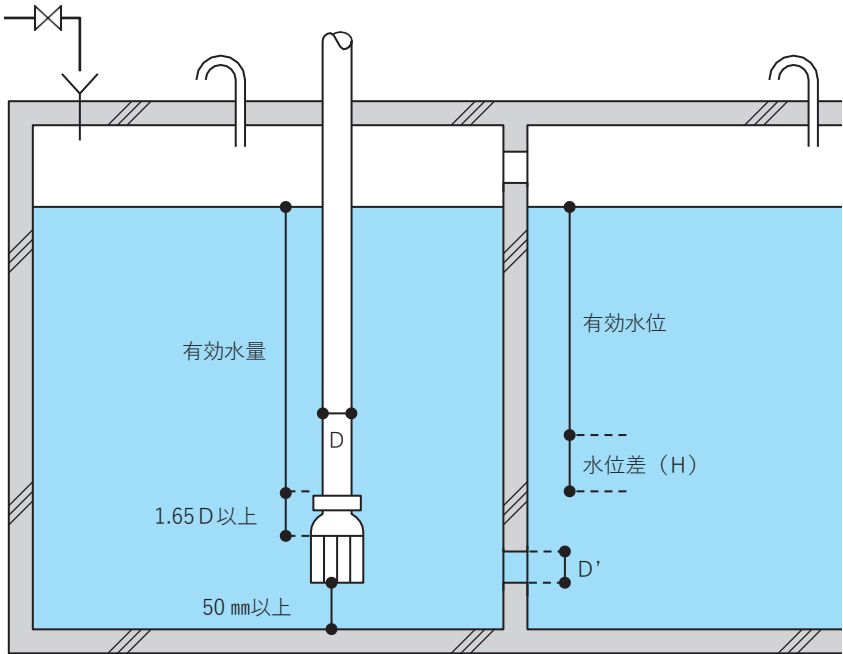
地下ピットに設けられる水槽（サクシヨンピットを設ける場合）



第 2 -26 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

(複数の地下ピットで構成される水槽)



複数の水槽で構成される地下水槽の連通管又は水位差の算出式

$$A = \frac{Q}{0.75 \sqrt{2gH}} = \frac{Q}{3.32 \sqrt{H}} \quad \text{又は} \quad D' = 0.62 \sqrt{\frac{Q}{\sqrt{H}}}$$

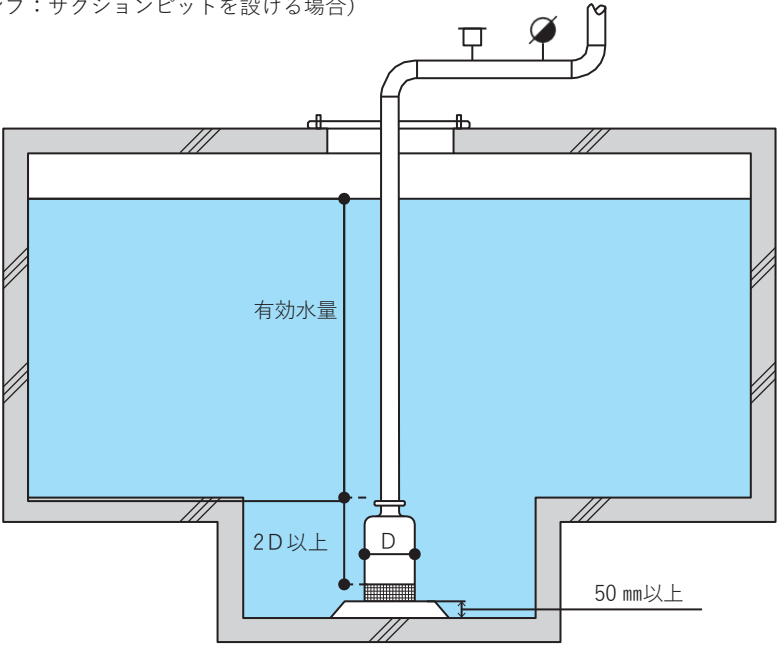
$$(\text{又は} \quad H = \left(\frac{Q}{3.32 \times A} \right)^2)$$

A : 連通管内断面積 (㎡)
 D' : 連通管内径 (m)
 Q : 連通管の流量 (㎡/s)
 g : 重力の加速度 (9.8m/s²)
 H : 水位差 (m)

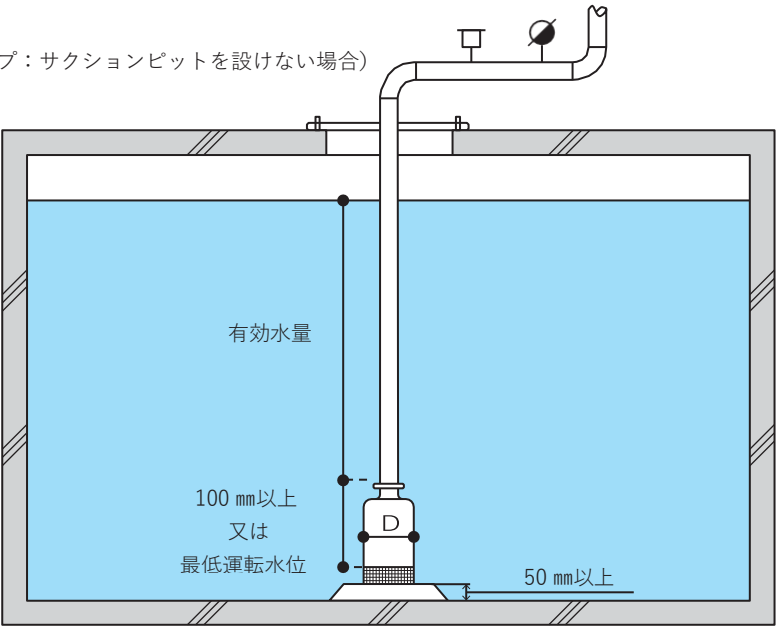
第 2-27 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

(水中ポンプ：サクシヨンピットを設ける場合)



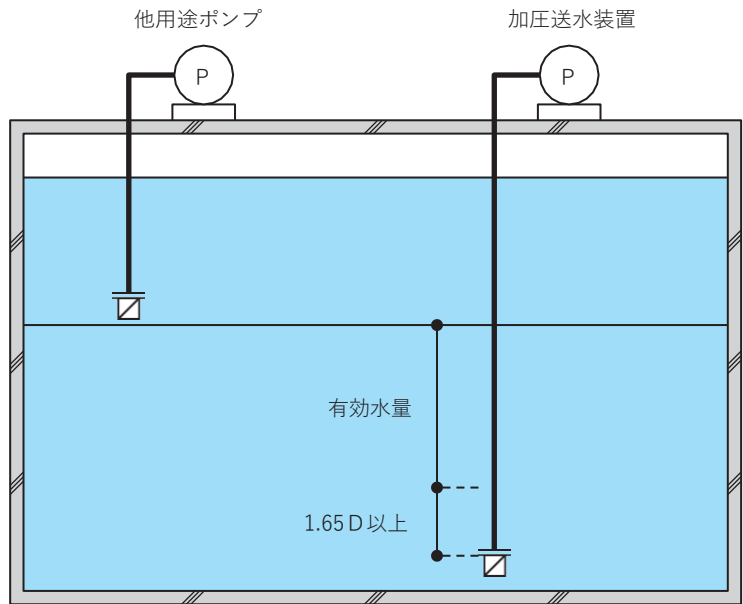
(水中ポンプ：サクシヨンピットを設けない場合)



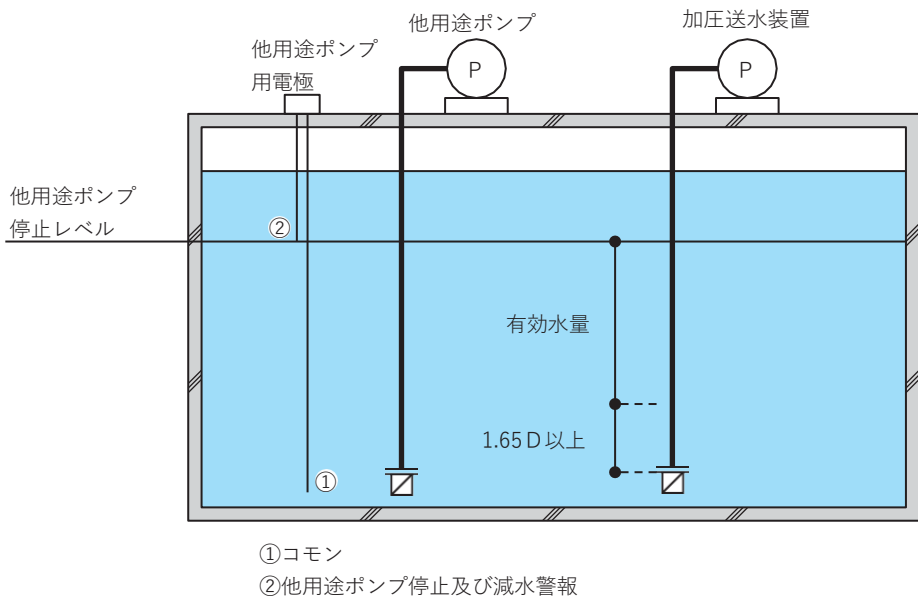
第 2-28 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

○共用水槽（水槽を他の用途のポンプと併用する場合）
（フート弁のレベル差による方法の例）



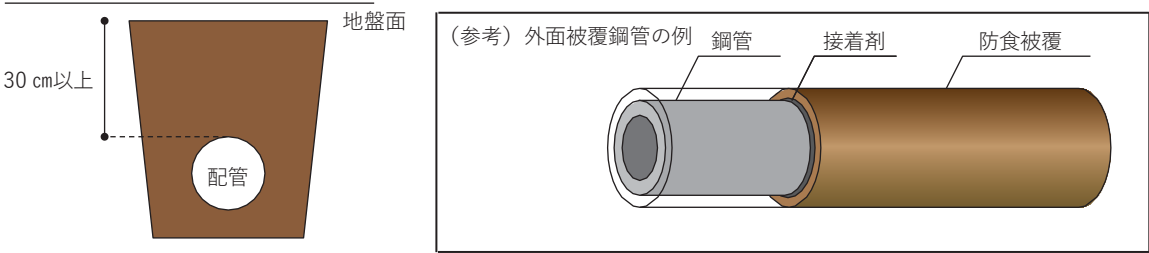
（水位電極棒の制御による方法の例）



第 2 -29 図

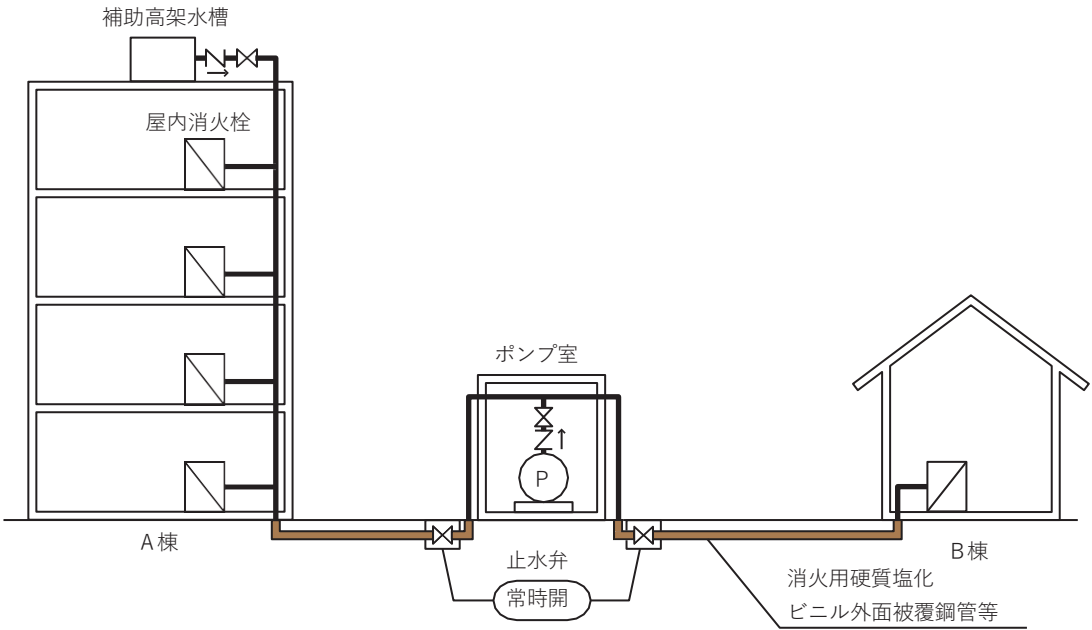
第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

(配管を埋設する場合)



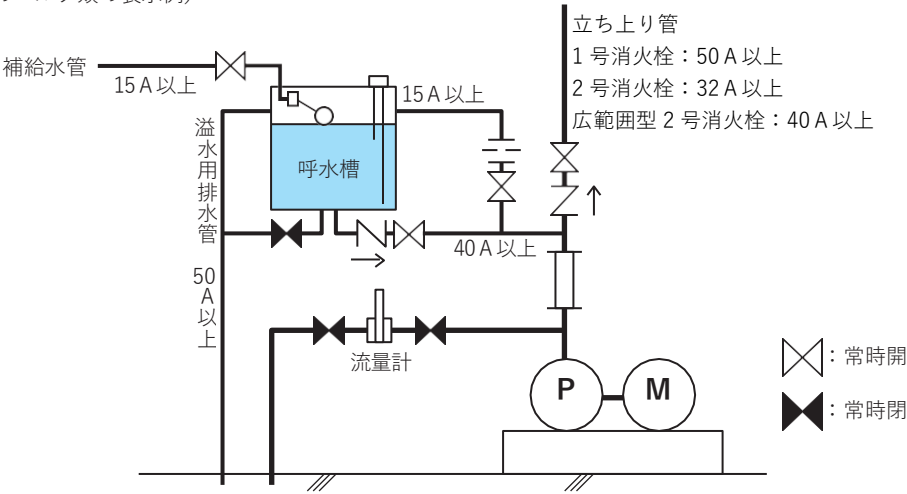
第 2-30 図

(棟ごとに配管を分岐する場合)



第 2-31 図

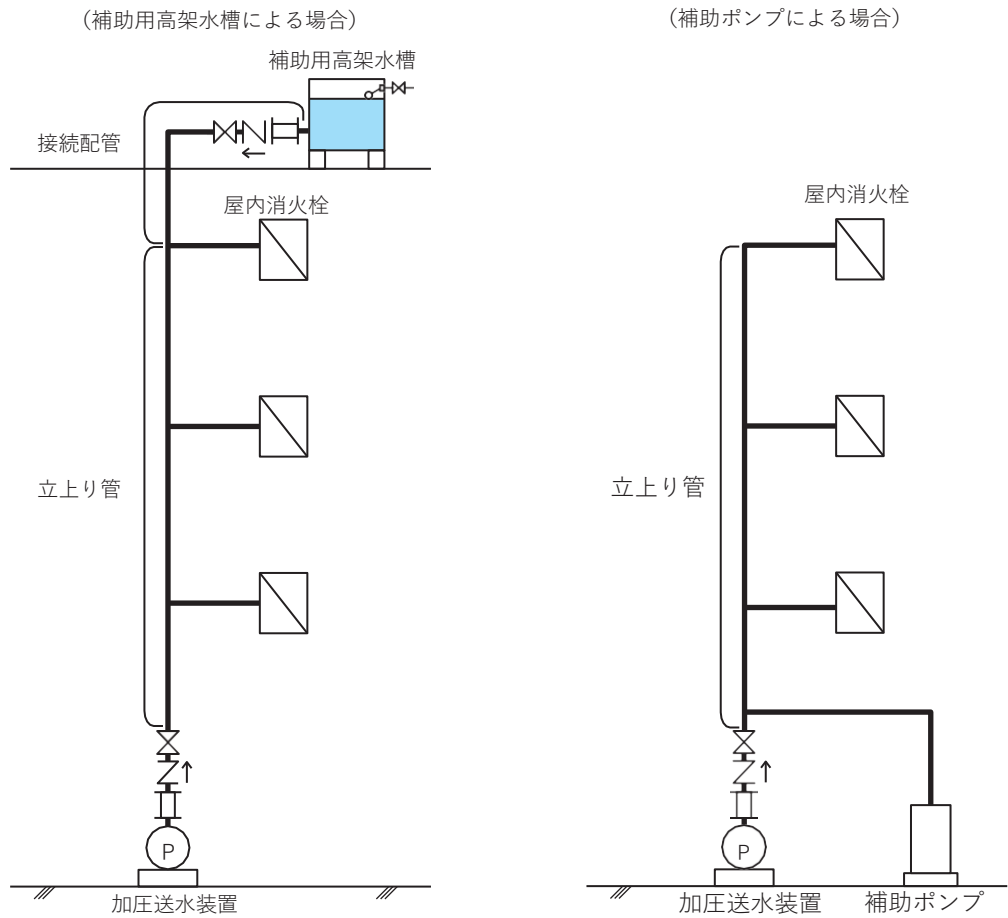
(ポンプ回りのバルブ類の表示例)



第 2-32 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

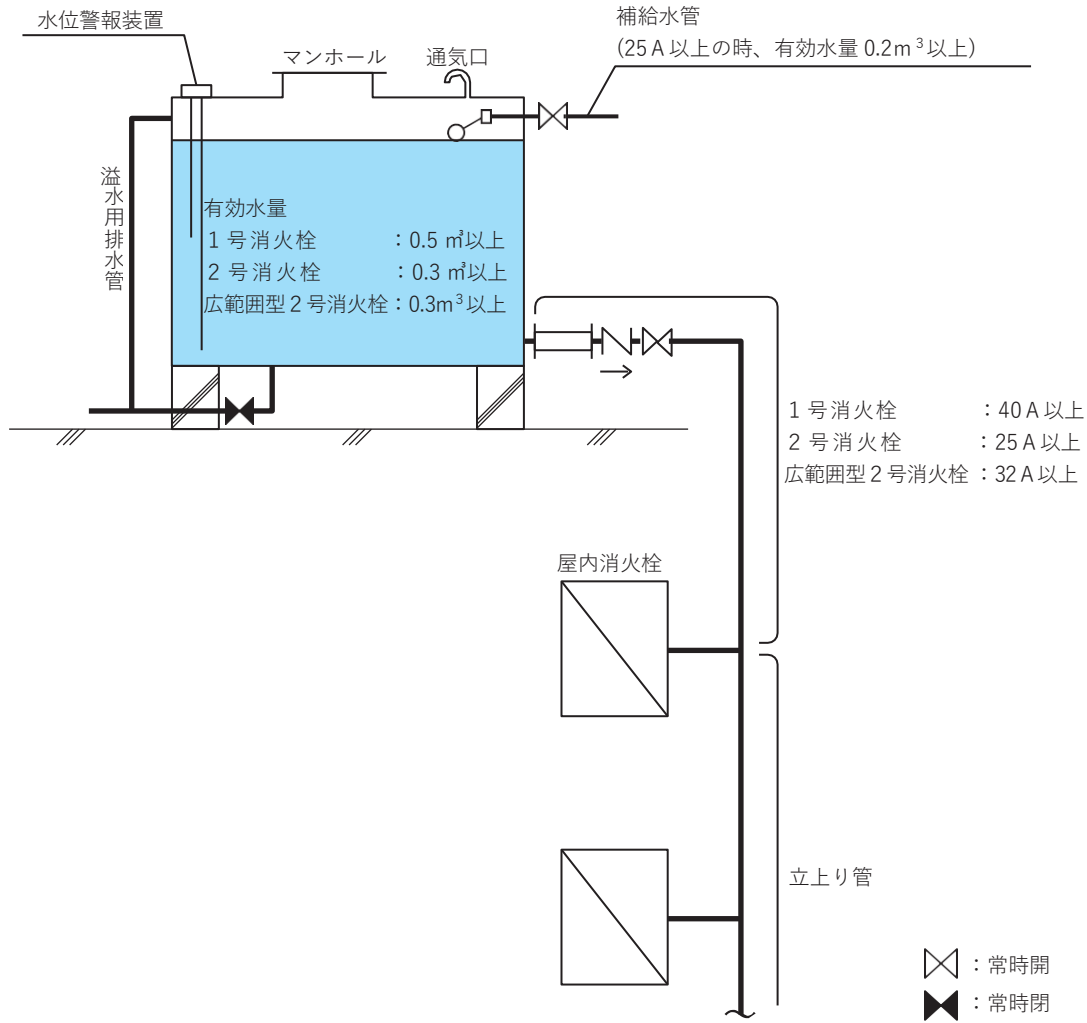
○配管内の充水方法



第 2-33 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

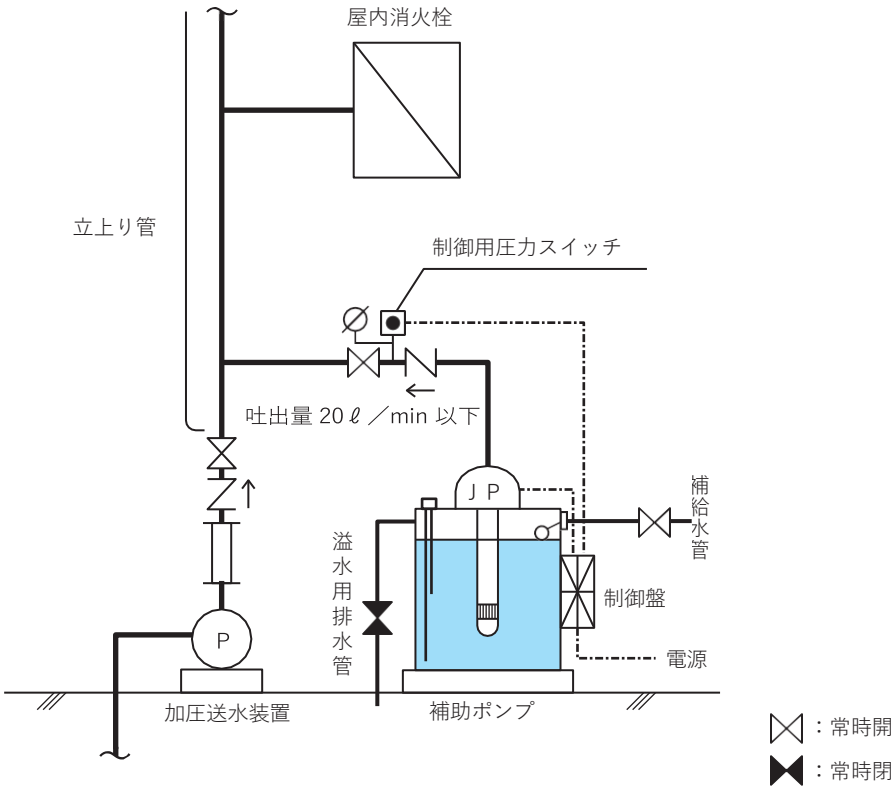
(補助用高架水槽による場合)



第 2-34 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

(補助ポンプによる場合)

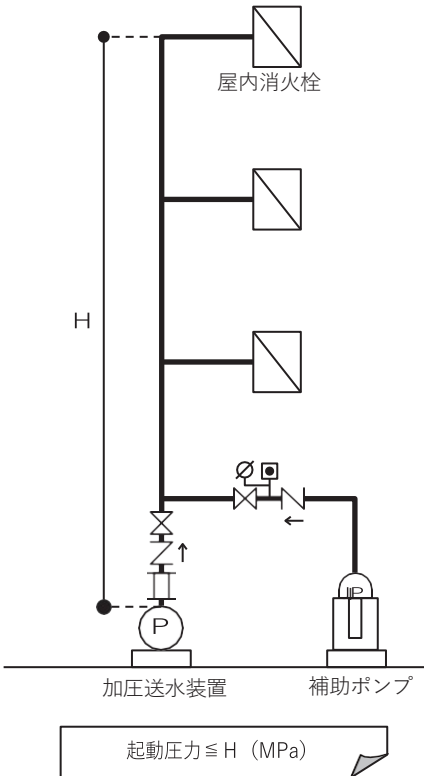


第 2 -35 図

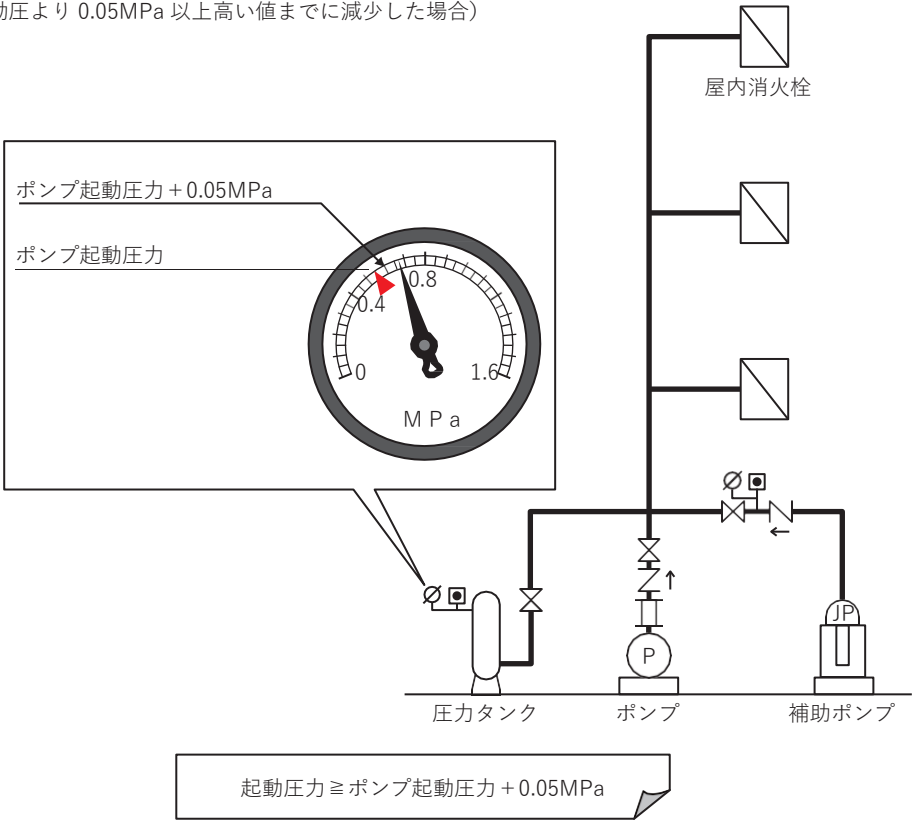
第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

○補助ポンプ起動圧力設定

(最も高い位置にある消火栓弁からポンプまでの落差圧まで減少した場合)



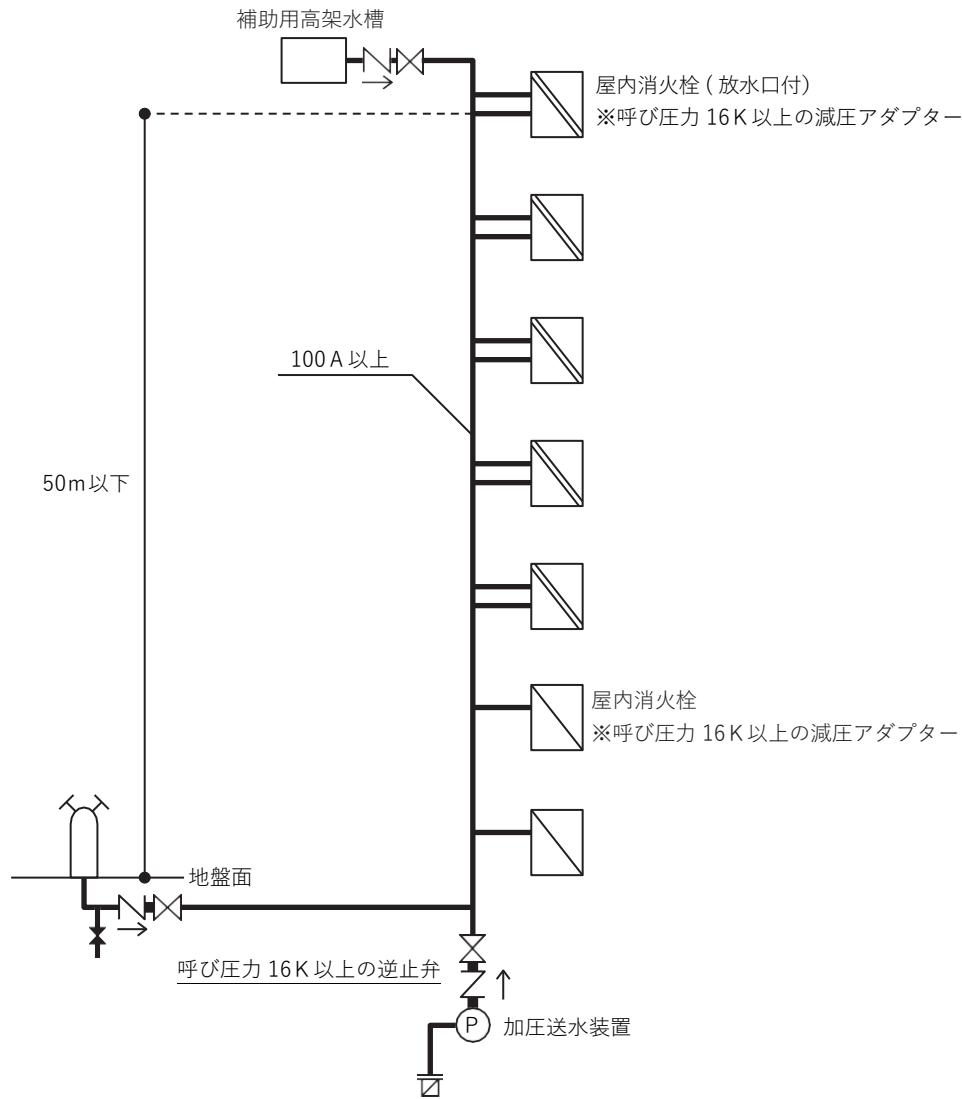
(ポンプの起動圧より 0.05MPa 以上高い値までに減少した場合)



第 2 -36 図

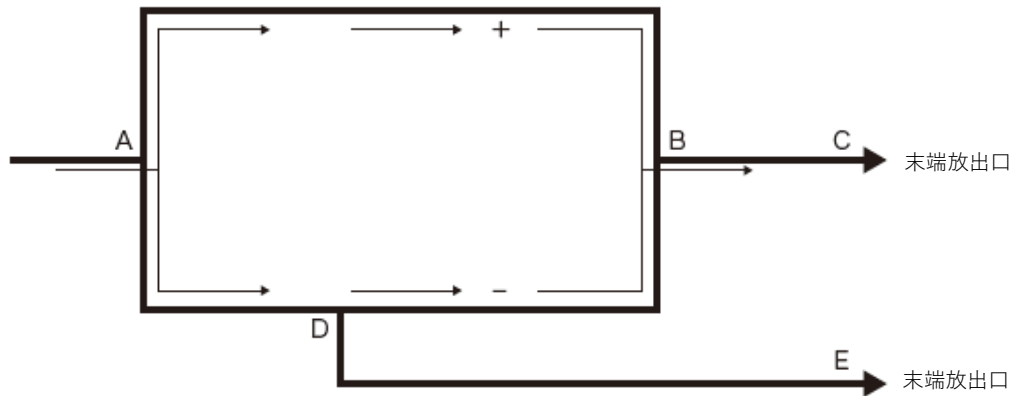
第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

(連結送水管用の主管との配管の兼用)



第 2 -37 図

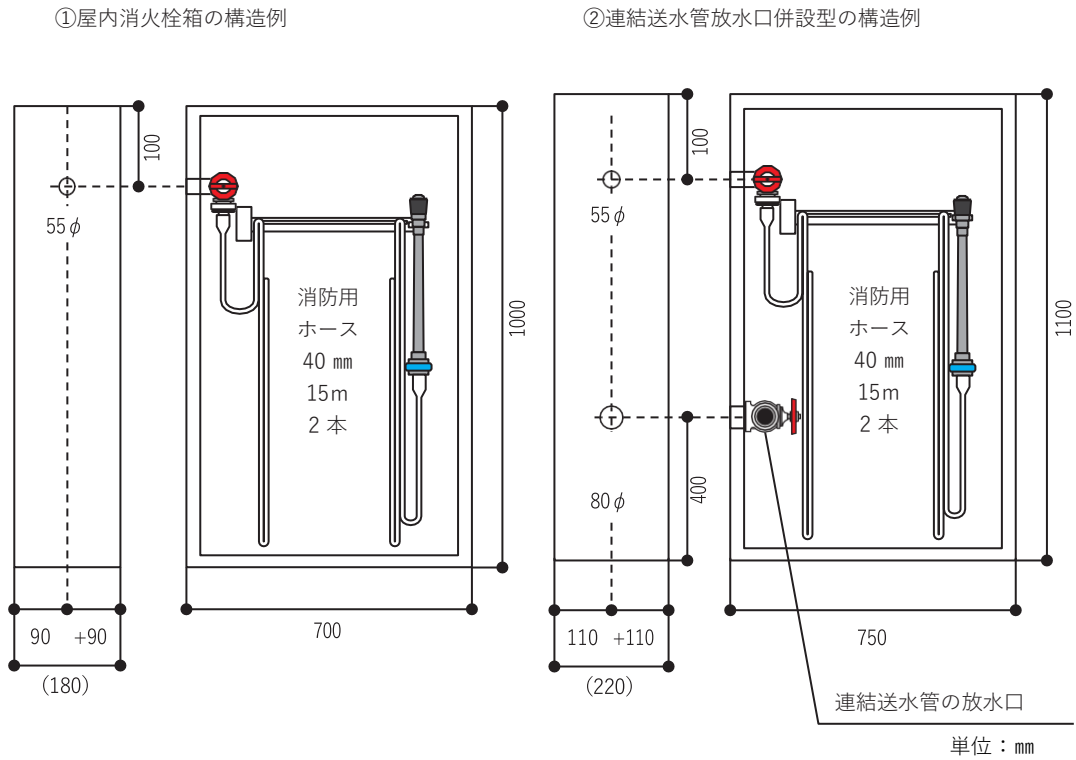
(ループ配管)



第 2 -38 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

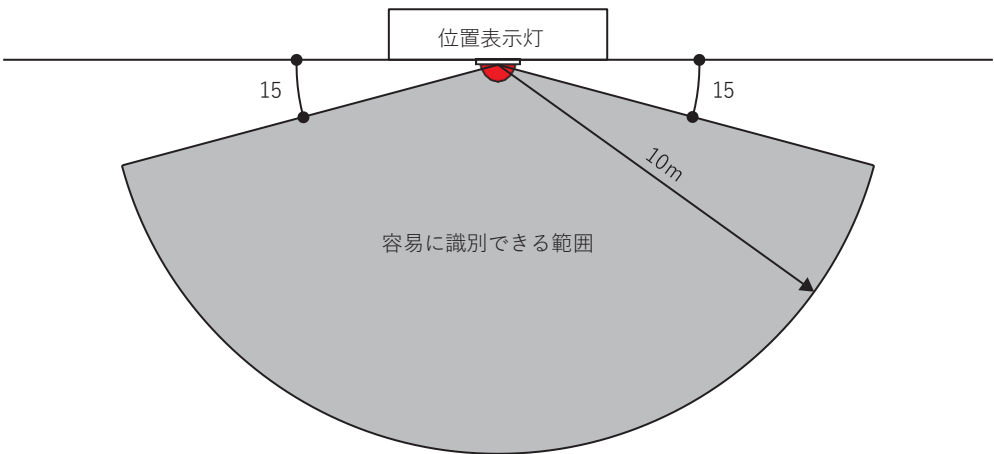
(屋内消火栓箱)



第 2 -39 図

(位置表示灯)

(平面図)



第 2 -40 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

○操作手順を示す絵表示の例

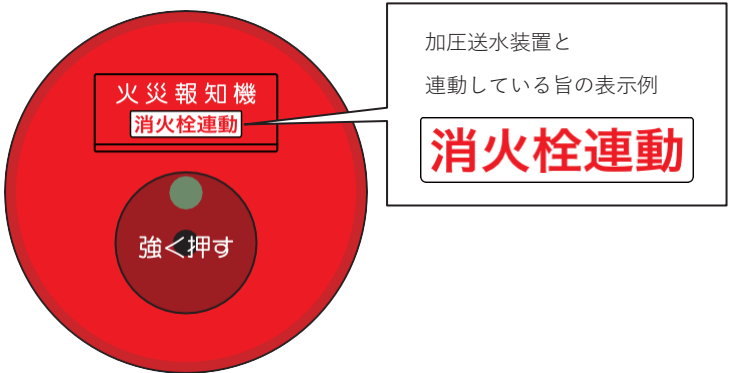
〔 加圧送水装置の起動装置の操作部を設ける
場合の例 〕

〔 加圧送水装置の起動装置が自動火災報知設
備のP型発信機と兼用する場合の例 〕



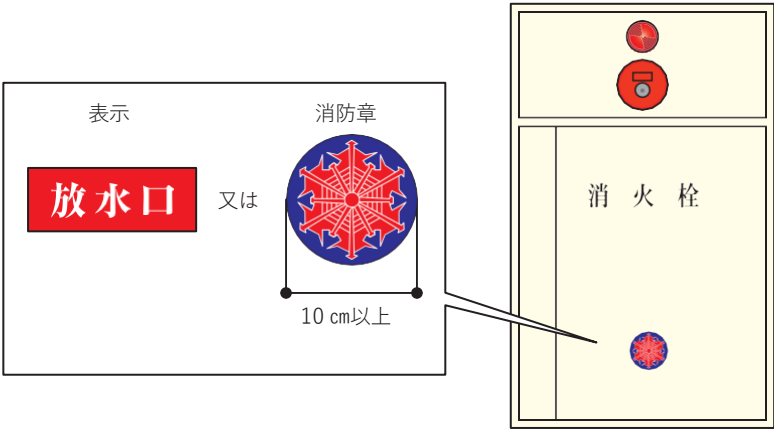
第 2 -41 図

○起動装置を自動火災報知設備のP型発信機と兼用する場合の表示例



第 2 -42 図

○連結送水管の放水口を併設して収納する屋内消火栓箱の表示例



第 2 -43 図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

○(一社)日本消防放水器具工業会において作成した当該仕様を示す識別ラベル

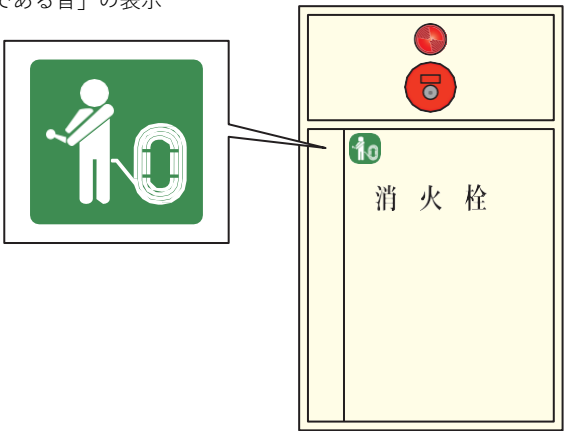
(標準仕様は、白ラベル)

(自動減圧仕様は、青ラベル)

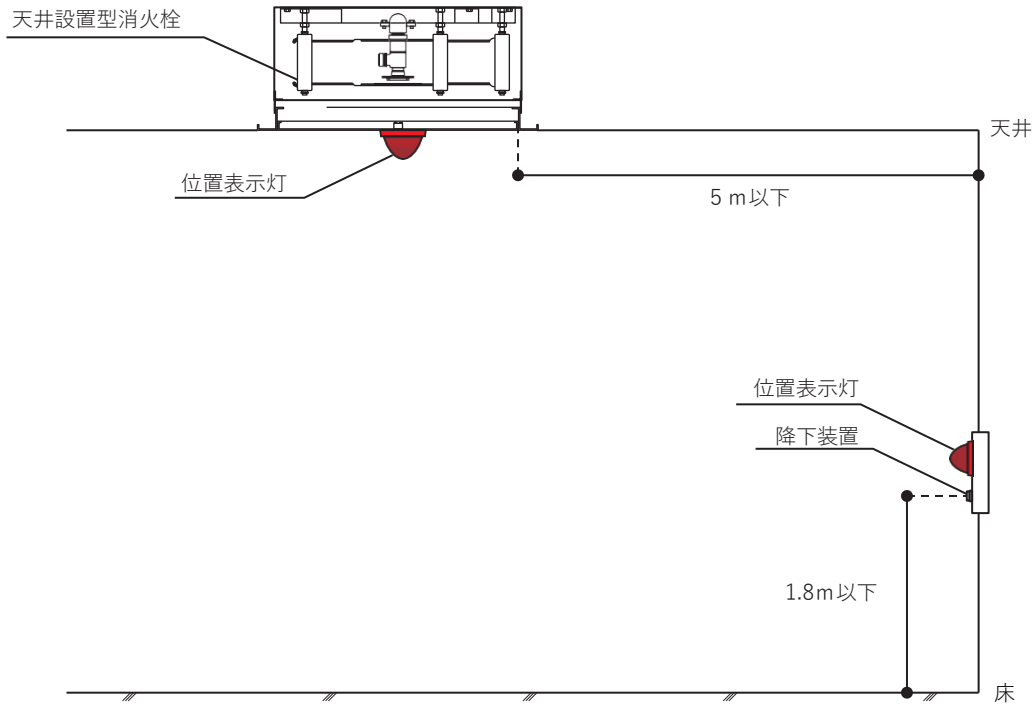


第 2 -44 図

○「一人で放水操作が可能である旨」の表示



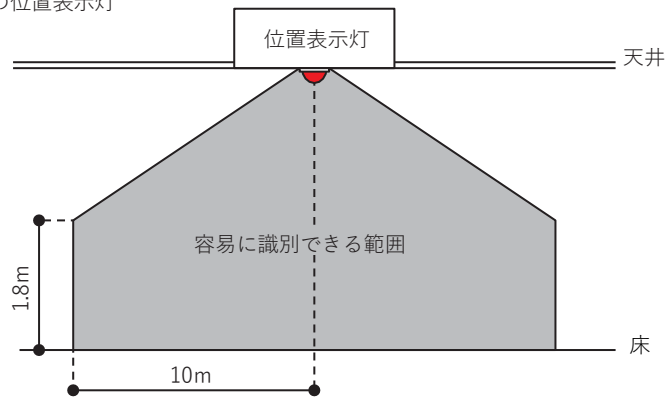
第 2 -45 図



第 2 -46 図

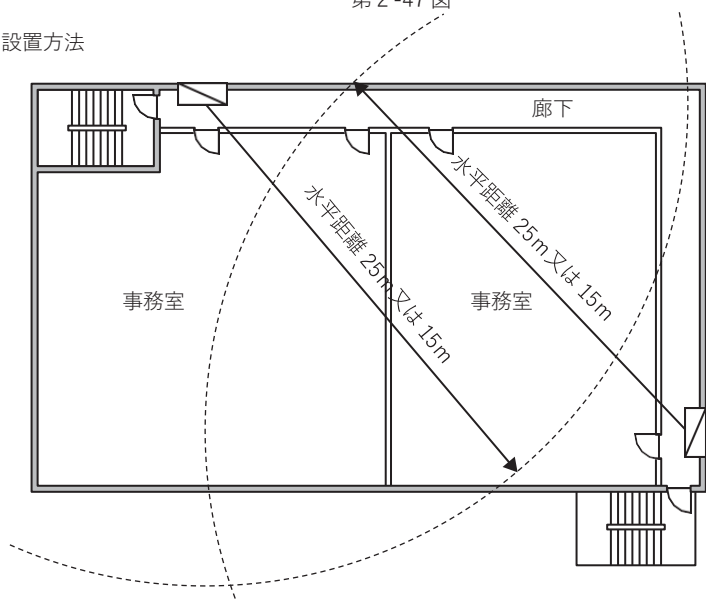
第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

○天井設置型消火栓の位置表示灯

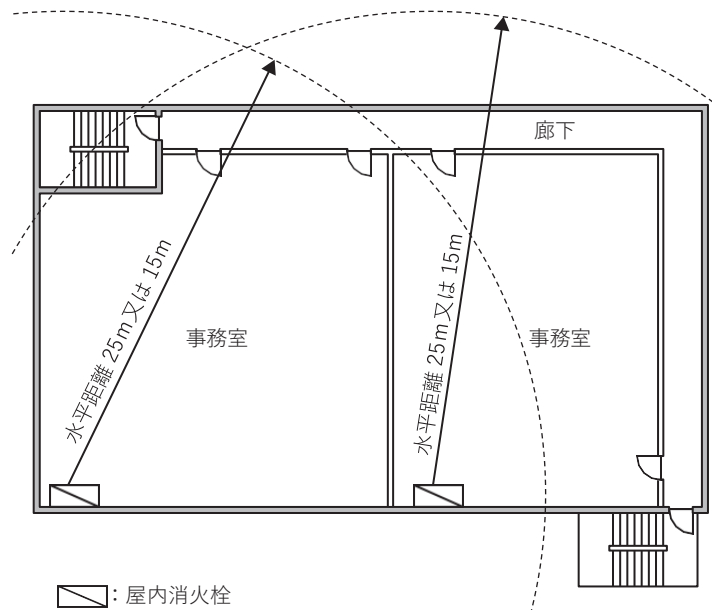


第2-47図

○消火栓の設置方法



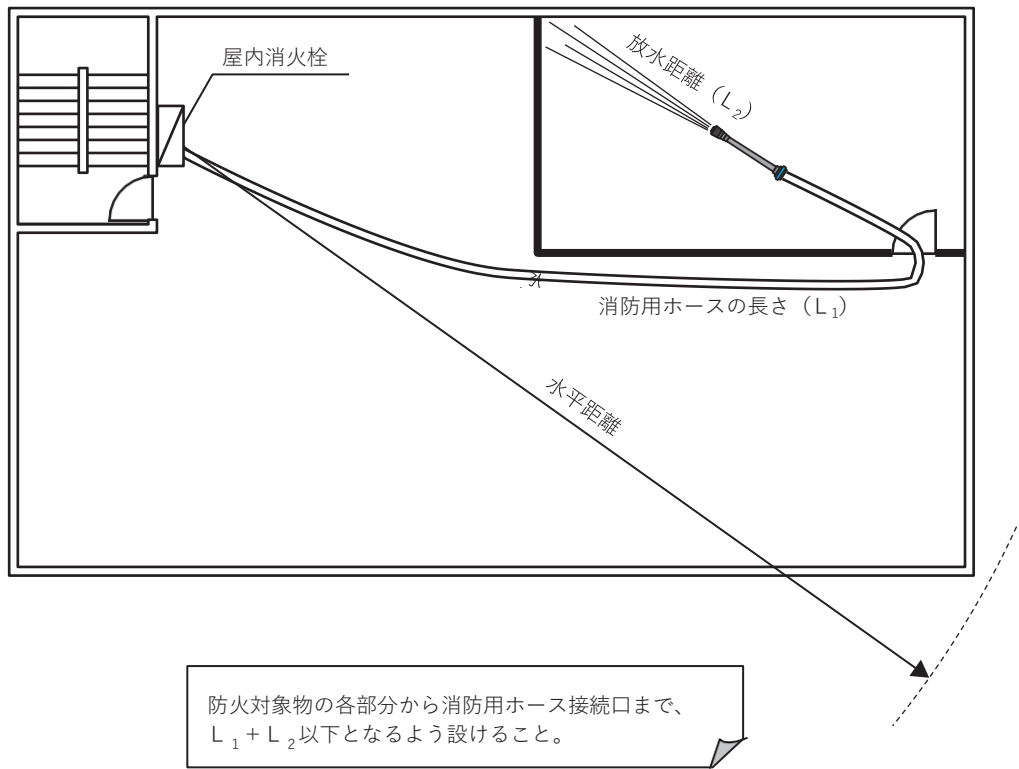
(望ましくない例)



第2-48図

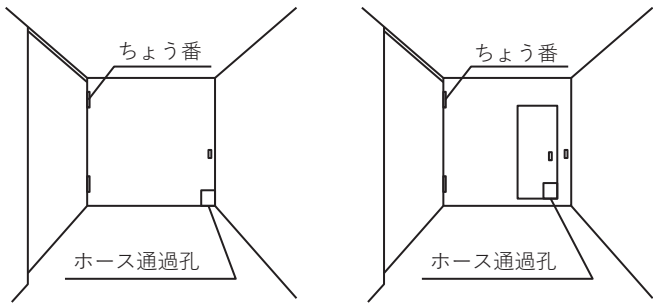
第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

○有効に放水することができる距離



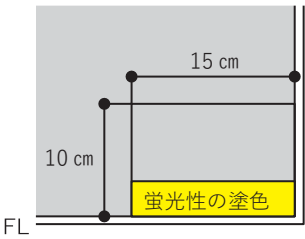
第2-49図

○乗降ロビー等のホース通過孔（立面）



第2-50図

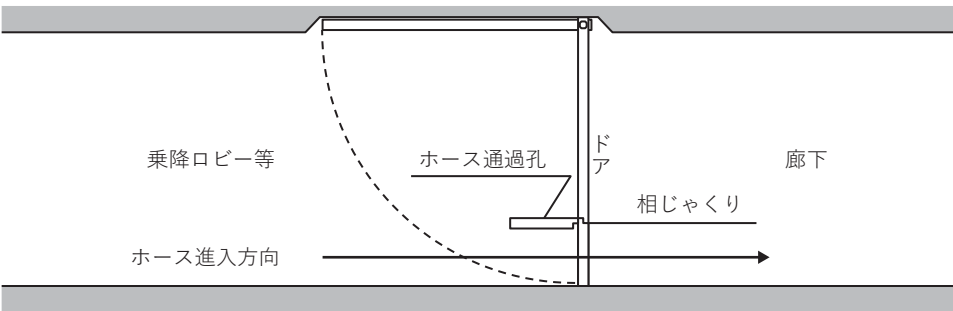
(拡大図)



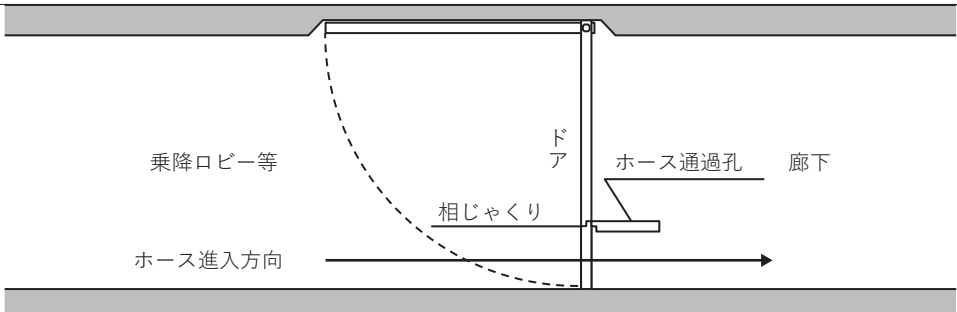
第2-51図

第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

○乗降ロビー等のホース通過孔（平面）
A 工法（扉の開く方向にホース通過孔が開く場合）

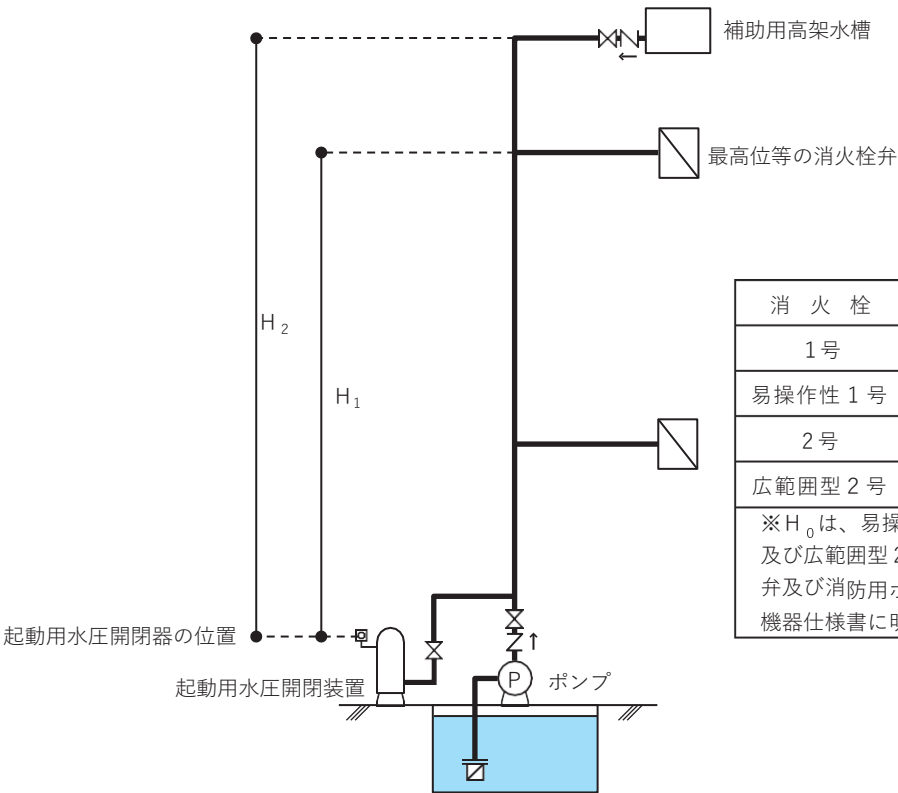


B 工法（扉の開く方向と反対方向にホース通過孔が開く場合）



第 2 -52 図

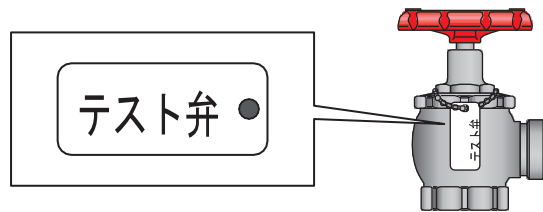
（起動用水圧開閉器の設定圧力）



消 火 栓	数 値
1 号	$H_1 + 0.2$ (MPa)
易操作性 1 号	$H_0 + H_1 + 0.2$ (MPa)
2 号	$H_0 + H_1 + 0.3$ (MPa)
広範囲型 2 号	$H_0 + H_1 + 0.2$ (MPa)
※ H_0 は、易操作性 1 号消火栓、2 号消火栓及び広範囲型 2 号消火栓のノズル、消火栓弁及び消防用ホースの摩擦損失水頭として機器仕様書に明示された数値をいう。	

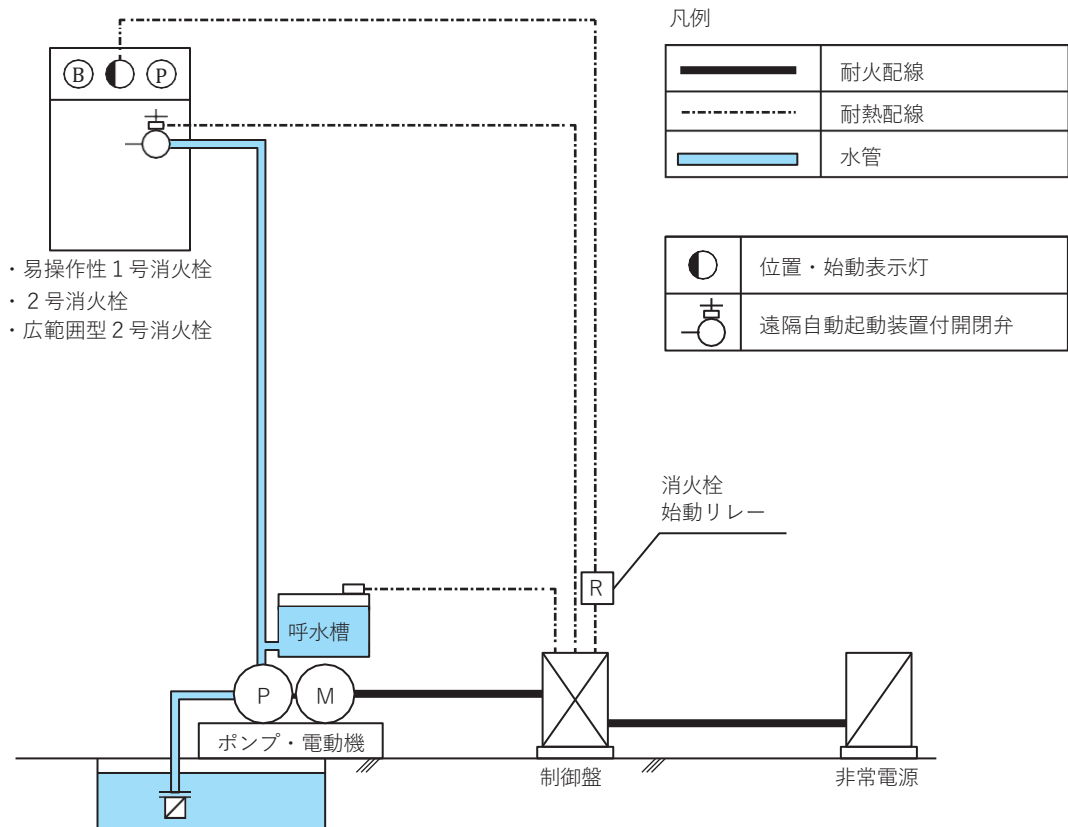
第 2 -53 図

(屋内放水口に設ける標識の例)



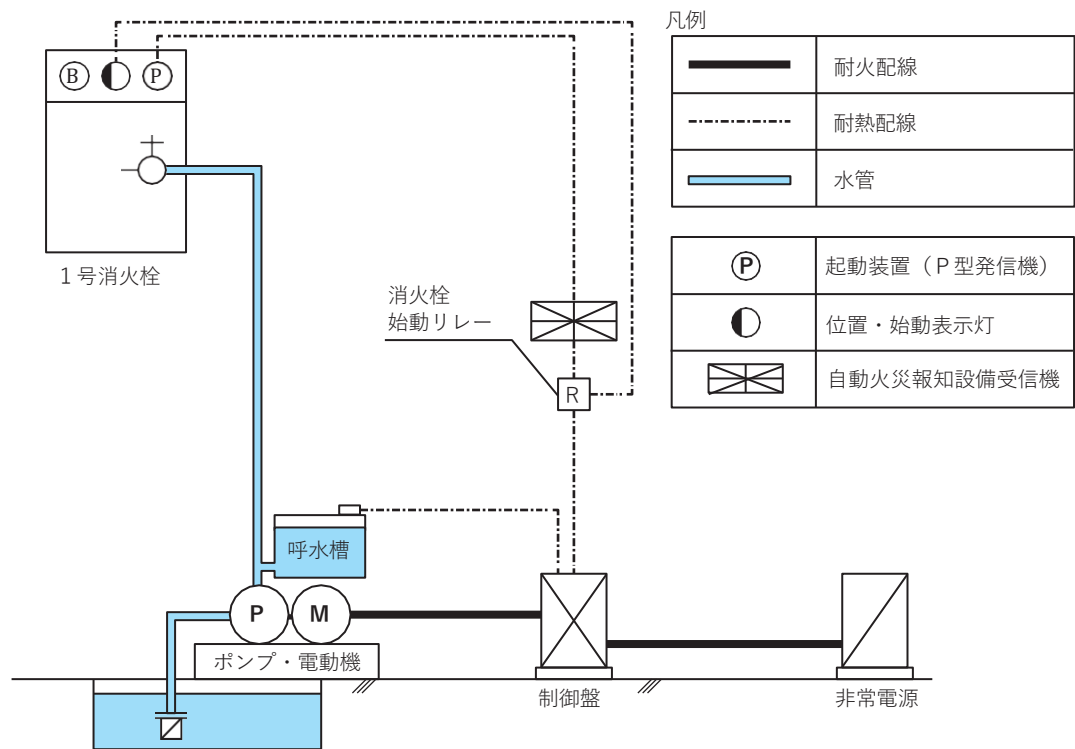
第 2-54 図

(配線等：易操作性 1 号消火栓、2 号消火栓及び広範囲型 2 号消火栓)

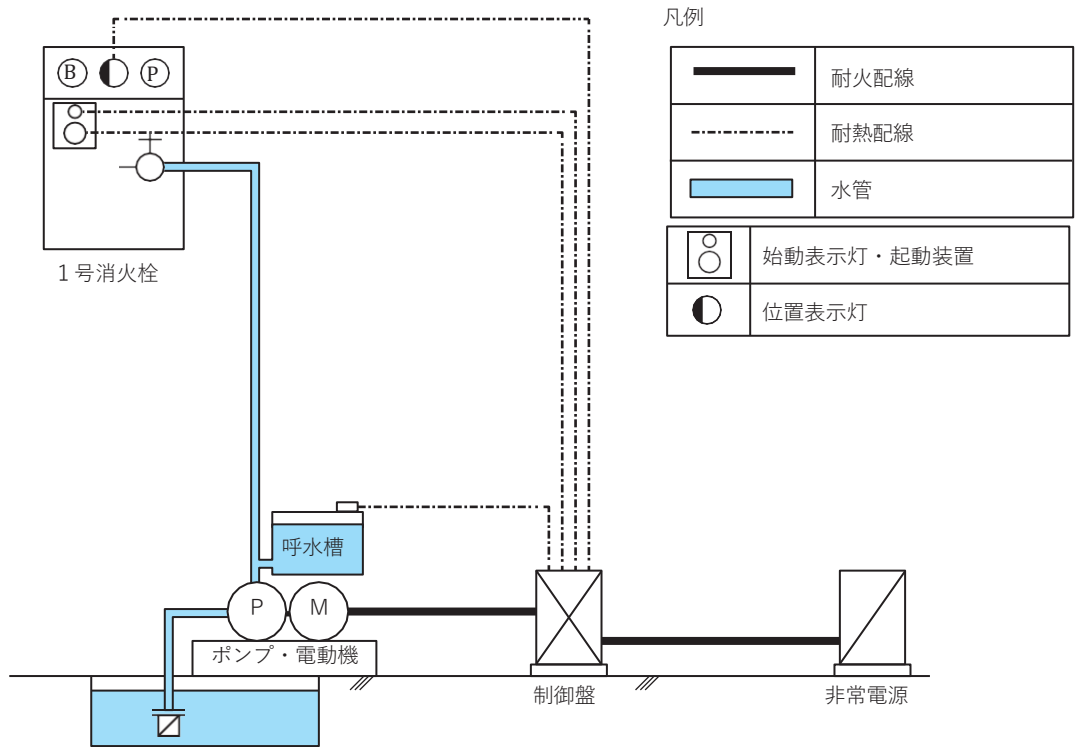


第4章 消防用設備等の技術基準
第2 屋内消火栓設備

(配線等：1号消火栓 起動方式に自動火災報知設備P型発信機を用いる場合)



(配線等：1号消火栓 操作部を用いる場合)



第 2 -55 図